



一般社団法人 日本LD学会

# 会 報 第 74 号

Japan Academy of Learning Disabilities

【事務局】 〒320-0043 宇都宮市桜 3-1-6 吉田ビル 2F  
TEL.028-666-0533 <http://www.soc.nii.ac.jp/jald/>

## 主な記事

<特集>

新しい心理検査 ①DN-CAS

<連続講座>

・青年期・成人期～就労における支援②

本人参加・自助グループ活動

・新役員等のご紹介



## 理事長就任のご挨拶

一般社団法人日本LD学会理事長

上 野 一 彦

(東京学芸大学)

昨年、日本LD学会は一般社団法人として新しいスタートを切りました。平成17年度に「発達障害者支援法」が施行され、翌18年度には「通級による指導」の指導対象として、LD、ADHDが学校教育法にも明記され、平成19年度から全国的に特別支援教育が実施されております。

これら一連の動向をみるにつけ、皆さんとともにこの学会がその発展に寄与してきた役割の大きさをあらためて自負するものです。

平成4年に脆弱な基盤のもとで設立された日本LD学会（設立当時、日本LD研究会、平成6年より名称を学会に改める）も、医学、教育、心理学、福祉領域等における専門家、幼、小、中、高の教師、大学院生、そして保護者らによって構成され、間もなく、会員数も7000人を超えるまでに成長いたしました。

一般財団法人化した特別支援教育士資格認定協会ともども、今後の社会的責務をしっかりと果たしていく覚悟のもとでの法人化でした。この法人化移行に当たっては会員の皆さんの絶大なる信頼を

背景に、無事その手続きを完了することができました。その後、定款に基づき、会員約100人に一人を代表する代議員の選挙が実施され、その選ばれた代議員の方々の互選によって20人の理事が選出され、さらにその中から今回の役員が選ばれ、新しい体制でのスタートを切ることができました。代議員選挙では推薦者がやや絞り込まれ、若い方々が遠慮された印象を受けました。これらは次の課題と重く受けとめています。

私自身、平成6年から会長、法人化後は理事長として皆さんのご協力のもとに代表を務めてまいりました。今後の学会のさらなる発展を願うとき、今回の選挙を私の最後の選挙としたいと思うに至りました。学会の国際的学術研究力、教育・福祉など政策提言力の向上を学会の次なる目標として掲げ、同時に世代交替へのバトンタッチのための準備を私の責務といたす所存です。これらの思いを理事長就任のご挨拶とし、学会のさらなる発展に力を注ぎたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。